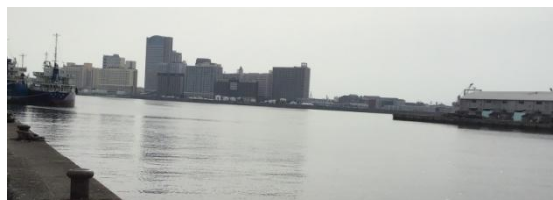


安治川と弁天埠頭

大阪の安治川。名前はよく聞くが、実際に見たことがない。安治川を見るため、地図で調べて地下鉄中央線「弁天町駅」に降りた。

安治川は淀川の下流のうち、中之島の西端から大阪湾にそそぐ、貞享年間(1684~88)に河村瑞賢が開削した6.34^キの運河である。



地図よりも現地で見た感じは、とにかく広い川幅であることだ。大阪の海運、物流に大きな役割を果たしてきた。安治川一帯に、「市設安治川倉庫」など多くの上屋(うわや)が並んでいる。上屋は一般に、船と倉庫との間の荷さばき・保管などを行う施設である。



写真上の安治川の向こうは此花区である。安治川突堤4号上屋の向こうに、ホテルが見える。新日鐵住金などの大きな工場とともに、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) と関連施設がある。



安治川とともに見たかったのが、「弁天埠頭」である。名前は聞いたことはあるが、どんな所なのか確かめたかった。弁天埠頭前に行ったが、トラックが並んでいるだけであった。あとからネットで調べてみると、「弁天埠頭」は、大阪港のフェリーターミナルの一つで、加藤汽船や関西汽船などが瀬戸内航路を就航させていた。1995年1月の阪神淡路大震災のあと、フェリーターミナルは廃止になったという。

写真下は安治川大水門であり、さらに行くと大阪市中央卸売市場、中之島西端へと続く。安治川はそこから土佐堀川、堂島川に分かれ、中之島東端からは大川、寝屋川へと続く。



「弁天埠頭」の帰りに、旧町名継承碑『寿町1~3丁目』を目にした。町名に関心があり、写真に撮ったので紹介したい。一当町は明治初頭、西成郡の市岡新田・池山新田の各一部であった。明治30年4月大阪市に編入され西区川南大字市岡・池山町の各一部となった。大正14年4月行政区画の変更にもとない港区に編入され、昭和2年4月寿町1~3丁目となった。同25年安治川拡張工事によりその一部が安治川の水面下となった。同43年9月住居表示の実施にもとない弁天1丁目・4~6丁目の各一部となった。平成7年3月

大阪市港区役所
(2020年6月8日)